

科学の有用性を高める真正の学習論に依拠した 授業デザインと協働検討システムの構築

心理学部 心理学科
講師 小川 博士

研究種目： 若手研究(B)
研究期間： 2016年度～2018年度
研究分野： 理科教育学



本研究の目的は、次の2点である。

- ① 中学・高等学校理科教育において、科学や理科学習に対する有用性を実感し関心を高めるために、真正の学習論(オーセンティック・ラーニング: Authentic learning)に依拠した理科授業デザイン及び実践を行い、その有効性を実証的に解明すること
- ② 研究者と実践者によるWeb 上並びに直接コミュニケーションによる協働検討システムを構築・運用し、真正の学習論に依拠した理科授業デザインの方法論を提案すること

上記の目的を達成することは、国内外の先行研究や調査結果、教育現場からの要望に鑑みると、学術的価値及び教育実践現場への普及・還元において意義を有すると考える。

主な著書

・小川博士, 松本伸示:オーセンティック・ラーニングに依拠した理科授業が科学的知識の理解に与える効果—小学校第6学年理科「もののもえ方」を事例として—, 理科教育学研究, 日本理科教育学会, Vol.52, No.3, pp.43-53, 2012

・小川博士, 松本伸示, 桑原不二朗, 平田豊誠:オーセンティック・ラーニングに依拠した理科授業が科学・理科学習態度に与える効果—小学校第5学年理科「天気の変化」を事例として—, 教育実践学論集, 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科, Vol.16, pp.139-147, 2015

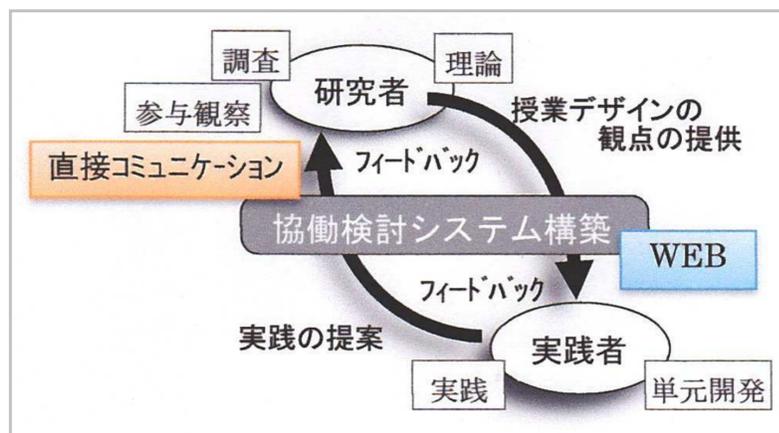


図1 研究者と実践者をつなぐ協働検討システム

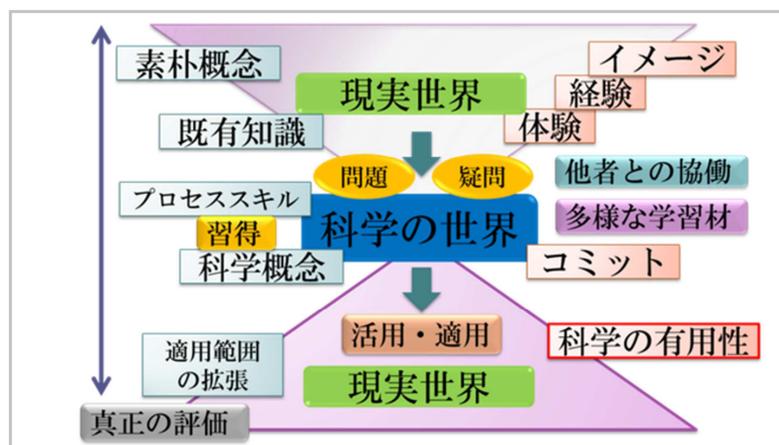


図2 理科授業デザインのモデル図

京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp